



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 アサガミ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9311 URL <https://www.asagami.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村健一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 秋山卓也 (TEL) 03-6880-2200
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,472	19.9	260	—	385	—	39	—
2021年3月期第1四半期	7,064	△24.7	△601	—	△379	—	△367	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 22百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △292百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	28.01	—
2021年3月期第1四半期	△259.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	46,716	16,944	36.0
2021年3月期	47,425	17,101	35.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 16,818百万円 2021年3月期 16,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において3月31日又は9月30日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,747	8.5	△473	—	△436	—	△745	—	△527.10
通期	40,047	3.3	1,191	84.8	1,225	26.0	659	346.0	465.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	1,418,000株	2021年3月期	1,418,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,192株	2021年3月期	3,192株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	1,414,808株	2021年3月期1Q	1,414,808株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、4月に大都市を中心として、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言を実施したため、依然として厳しい状況が続いております。

物流業界では、ドライバー有効求人倍率が高水準を維持しており、長年の課題となっているドライバー不足解消には至っておりません。また、燃料価格の上昇が続いていることから、全体として厳しい経営環境で推移致しました。不動産業界では、首都圏の大型物流施設の空室率が上昇に転じました。また、上昇を続けていた賃料は横ばいとなりました。印刷業界の婚礼分野では、婚礼延期、開催規模縮小等の影響で非常に厳しい経営環境となっております。新聞分野では、発行部数の減少傾向が継続する等、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループは、経営理念の「顧客に対する最高のサービス」、「適正利潤の追求」、「真に働きがいのある会社」を信念に、高品質のサービスを提供して参りました。

これらの結果、物流事業において建設機械関連の新規案件獲得により輸送量が増加したこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い停滞していた、印刷事業における婚礼印刷の受注件数が回復傾向にあること等が寄与し、当第1四半期連結累計期間における売上高は8,472百万円（前年同四半期比19.9%増）、営業利益は260百万円（前年同四半期は営業損失601百万円）、経常利益は385百万円（前年同四半期は経常損失379百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失367百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ708百万円減少し、46,716百万円となりました。これは主に、電子記録債権が361百万円増加した一方、現金及び預金が750百万円、受取手形及び売掛金が103百万円、減価償却等により有形固定資産が193百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ551百万円減少し、29,771百万円となりました。これは主に、支払方法の変更により電子記録債務が135百万円、賞与額の確定に伴う振替等により流動負債のその他に含まれる未払費用が579百万円増加した一方、短期借入金が198百万円、未払法人税等が205百万円、賞与引当金が261百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が313百万円、未払金が152百万円、長期借入金が193百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ156百万円減少し、16,944百万円となり、自己資本比率は36.0%となりました。これは主に、配当金の支払等により利益剰余金が135百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想について、現時点においては、2021年5月14日発表の予想数値に変更ありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

今後、連結業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,858,349	6,108,056
受取手形及び売掛金	5,215,092	5,111,246
電子記録債権	132,895	494,661
商品及び製品	66,177	62,373
仕掛品	3,913	20,149
原材料及び貯蔵品	1,012,890	1,015,847
その他	791,772	742,261
貸倒引当金	△39,614	△7,798
流動資産合計	14,041,476	13,546,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,459,600	6,309,759
機械装置及び運搬具（純額）	1,867,849	1,783,070
土地	17,159,143	17,159,143
その他（純額）	851,650	893,083
有形固定資産合計	26,338,243	26,145,057
無形固定資産		
借地権	1,113,556	1,113,556
その他	671,500	635,201
無形固定資産合計	1,785,057	1,748,758
投資その他の資産		
投資有価証券	1,863,752	1,842,365
長期貸付金	632,539	609,299
繰延税金資産	871,249	923,370
退職給付に係る資産	79,557	80,278
その他	1,830,054	1,837,439
貸倒引当金	△16,711	△16,570
投資その他の資産合計	5,260,441	5,276,182
固定資産合計	33,383,742	33,169,997
資産合計	47,425,218	46,716,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,258,154	3,330,702
電子記録債務	124,294	260,264
短期借入金	5,686,216	5,487,926
未払法人税等	612,418	406,867
賞与引当金	396,591	135,016
その他	2,572,955	2,720,023
流動負債合計	12,650,630	12,340,800
固定負債		
長期借入金	11,298,363	11,104,410
繰延税金負債	16,058	11,478
再評価に係る繰延税金負債	2,542,865	2,542,865
役員退職慰労引当金	1,343,134	1,339,017
退職給付に係る負債	1,416,990	1,411,308
長期預り金	791,583	791,212
その他	264,094	230,893
固定負債合計	17,673,089	17,431,185
負債合計	30,323,720	29,771,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,189,000	2,189,000
資本剰余金	32,991	32,991
利益剰余金	8,735,783	8,599,842
自己株式	△11,930	△11,930
株主資本合計	10,945,844	10,809,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408,164	393,414
土地再評価差額金	5,573,222	5,573,222
退職給付に係る調整累計額	44,612	42,363
その他の包括利益累計額合計	6,025,999	6,009,000
非支配株主持分	129,653	125,906
純資産合計	17,101,497	16,944,809
負債純資産合計	47,425,218	46,716,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	7,064,995	8,472,319
売上原価	6,255,144	6,899,121
売上総利益	809,850	1,573,197
販売費及び一般管理費		
役員報酬	117,028	117,128
給料手当及び賞与	532,116	421,555
賞与引当金繰入額	39,347	38,185
退職給付費用	17,840	13,882
役員退職慰労引当金繰入額	13,530	13,565
貸倒引当金繰入額	1,988	—
その他	689,469	708,075
販売費及び一般管理費合計	1,411,320	1,312,393
営業利益又は営業損失(△)	△601,470	260,803
営業外収益		
受取利息	4,869	4,459
受取配当金	22,080	34,374
貸倒引当金戻入額	—	13,831
受取賞品	56,991	38,879
雇用調整助成金	161,234	24,520
その他	12,981	39,067
営業外収益合計	258,158	155,133
営業外費用		
支払利息	32,216	28,482
その他	3,675	1,918
営業外費用合計	35,892	30,401
経常利益又は経常損失(△)	△379,203	385,536
特別利益		
固定資産売却益	964	44
投資有価証券売却益	15,000	—
受取保険金	1,745	—
特別利益合計	17,710	44
特別損失		
事業構造改善引当金繰入額	105,944	—
固定資産除却損	263	155
投資有価証券売却損	—	683
特別損失合計	106,208	839
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△467,701	384,741
法人税、住民税及び事業税	267,466	393,197
法人税等調整額	△367,410	△47,836
法人税等合計	△99,944	345,360
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△367,757	39,380
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△727	△247
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△367,029	39,627

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△367,757	39,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,734	△14,750
退職給付に係る調整額	△2,504	△2,249
その他の包括利益合計	75,229	△16,999
四半期包括利益	△292,527	22,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△291,799	22,628
非支配株主に係る四半期包括利益	△727	△247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,164千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は5,792千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。